



「読書の秋」を辞書で調べてみると「読書に適しているとされる季節」とあります。なぜ読書に適しているかというと、昼の時間が長い夏に比べ、夜が長くなって来るからです。「読書の秋」は「秋の夜長は読書しよう」というところからきています。

10月2日（金）～10月30日（金）は、つばさ小読書月間です！！



読書の木

今年出会った本の中で、一番好きな本の題名を葉っぱに書いてください。『読書の木』をみんなで育てましょう。



図書委員おすすめの本

図書委員が、低・中・高学年向けにおすすめの本を紹介しします。図書館の廊下にポスターを貼りますので注目してください。10月6日（火）のテレビ朝会もお楽しみに！



ブックウォーク

学年ごとに期間を決めて、一人ひとりの読書目標を立て、記録します。



秋に読みたい本・新しい本

秋と結びつくことばは、食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、行楽の秋などたくさんありますね。秋に読みたい本や、新しい本をブックトラックに並べて紹介しします。



芸術の秋

『第32回読書感想画中央コンクール』指定図書の見本を図書館に展示しています。貸出もできますので、感動を絵で表現してみませんか？

豆知識！



「月のかたち」ほるぷ出版 監修・写真 藤井旭

今年の「中秋の名月」（昔のこよみで8月15日の月）は10月1日です。満月はふつう、ひと月に1度ですが、今年の10月は、2日と31日の2回満月が見られる珍しい月なんです。

日本では、月の模様を「もちをつくウサギ」に見たてられますが、世界では次のように様々な見方をされているそうです。さて、あなたには何に見えますか？

- かに（南ヨーロッパ） ●本を読むおばあさん（北ヨーロッパ） ●ロバ（南アメリカ）
- ライオン（アラビア） ●長い髪の女性（東ヨーロッパ/北アメリカ） ●ヒキガエル（中国）

# むかしばなしを よ 読みくらべてみよう！



「むかしばなし」は日本各地で伝わる伝説を元に語り継がれているため、同じ物語でも内容が少し違うことがあります。特に絵本は、作家や画家によってもイメージが違います。皆さんがよく知っているお話も、いろいろな絵本で読みくらべてみると、新しい発見があるかもしれません。

## 『ももたろう』



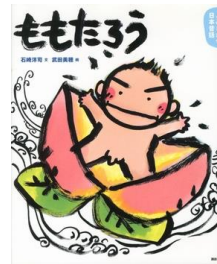
まついただし・さく  
松居直・作  
あかばすえきら  
赤羽末吉・絵  
ふくいんかんしよてん  
(福音館書店) 1965年



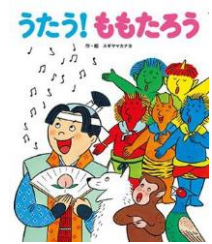
まつたに  
松谷みよ子・文  
わかやましずこ  
和歌山静子・絵  
どうしんしよ  
(童心社) 2006年



いちかわのあひ  
市川宣子・文  
ほせがわしんみ  
長谷川義史・絵  
しょうがくかん  
(小学館) 2010年



いしざきひろし  
右崎洋尚・文  
ただみほ  
武田美穂・絵  
こうだんしよ  
(講談社) 2012年



スギヤマカナヨ・作  
(赤ちゃんとママ社)  
2019年

むかしむかし、あるところにおじいさんとおばあさんが住んでいました。

おじいさんは、山へしばかりに。おばあさんは、川へせんたくにいきました。すると、大きな桃が流れてきました。家に持ち帰ると、なんと中から元気な男の子が、出てきました。。という物語のはじまりは同じですが、松谷みよ子さんの描く『ももたろう』は、少しなまけもので、鬼たいじに行くのもあまり乗り気ではありません。また、お供たちにきびだんごを半分だけ分けてあげています。お供は、犬、猿、キジだけでなく、『さるかにがっせん』のかに、いしうす、うしのふんや、『かちかちやま』のうさぎも助っ人として登場するという、ユニークなお話になっています。

## 『かちかちやま』



おざわとしお きいわ  
小澤俊夫・再話  
あかばすえきら  
赤羽末吉・絵  
ふくいんかんしよてん  
(福音館書店) 1988年



やましたはるお さく  
山下明生・作  
こやまともち  
小山友子・絵  
あかね書房  
(あかね書房) 2010年

毎日山の畑で働くおじいさんがまた種をほったり、せっかく実ったお芋を盗んでいってしまうたぬきがいました。怒ったおじいさんは、たぬきをつかまえ、縄でしばってうちへ帰り、おばあさんに「たぬき汁」にしておくように言って、また畑に出かけました。かわいそうに思ったおばあさんは、縄をほどいてしまいます。するとたぬきは、おばあさんを殺して「ばばあ汁」を作り、帰ってきたおじいさんにそれを食べさせて逃げるのですが、作家の山下明生さんは、子どもの頃に恐ろしくなった記憶があって、その場面は描けなかったのだそうです。

おじいさんから話を聞いたうさぎは、たぬきに仕返しをしてやっつけてしまいますが、あまりに残酷なお話なので、おばあさんもたぬきも死なないというお話も、伝えられているそうです。